

# 事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

事務事業名	コード 19500	環境衛生事務費 (ごみ処理広域化の推進) (し尿の収集・処理体制の充実)	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 4	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
実施体系	基本施策 21	廃棄物の減量化と資源の有効活用	根拠法令	旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、地球温暖化の推進に関する法律					
	施策の展開 43	廃棄物の減量化と資源の有効活用	戦略事業	194	ごみ処理の広域化				
	施策の展開		戦略事業	195	し尿の収集・処理体制の充実				

## (1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	①ごみ処理広域化の推進 ごみ処理広域化を目指し旭市・匠瑛市・銚子市の3市でごみ処理施設の建設を進めている。広域化によりごみ処理経費の縮減や熱エネルギーの有効活用、ダイオキシン類の削減などの効果が図られる。東総広域市町村圏事務組合が事務局として事業を推進しているが課長会議等により事業内容の検討を行っている。各市で費用を負担している。 ②し尿の収集・処理 し尿の収集・処理は、東総衛生組合が業務を行っている、関係市町(旭市・匠瑛市・多古町・横芝光町(旧光町区域のみ))が負担金を納めている。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
①国のダイオキシン対策の方針を受け、H10に首長会で決定。その後千葉県ごみ処理広域化計画に位置づけられた。②東総衛生組合は、昭和35年に設立。現在の施設は、平成27年移動開始。	①R2まで事業を完了させることで震災復興特別会計の有利な財源を見込める。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・し尿の収集について市民から苦情がなく満足していると思われる。・広域ごみ処理については意見が出ていない状況である。	

## (2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.負担金(東総広域)	4,977,856 H30年度 346,477千円のうち旭市の負担額
2.負担金(衛生組合)	120,710 H30年度 252,400千円のうち旭市の負担額
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	1,190,300 広域ごみ処理施設整備事業債
4.その他	

事業費	費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
	1.負担金(東総広域)	千円	185,334	130,901	1,465,011	4,977,856	404,784
財源	2.負担金(衛生組合)	千円	129,274	121,559	119,768	120,710	123,159
	事業費計(A)	千円	314,608	252,460	1,584,779	5,098,566	527,943
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円	80,100	85,200	262,500	1,190,300	
4.その他	千円						
5.一般財源	千円	234,508	167,260	1,322,279	3,908,266	527,943	

前年度増減理由	継続事業で行っているR2年度分、ごみ処理施設及び最終処分場建設工費が増加したため。
---------	---

従事職員数 常時 3人 最大 5人 × 11日 = 延べ 55人

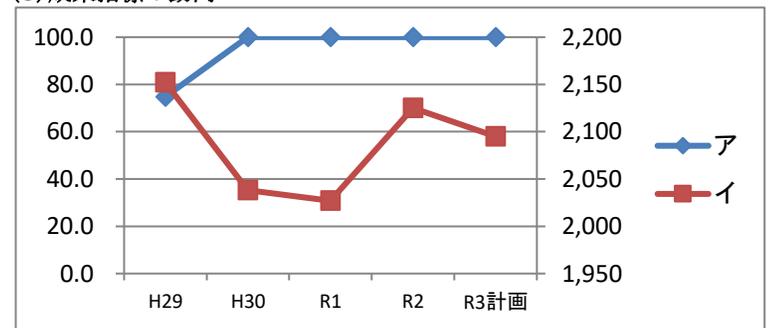
## (3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 担当課長会議5回、担当者会議4回 計12回	ア 担当者・課長会議回数	回	7	6	12	9	8
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ (東総衛生組合の活動)浄化槽人口と非水洗化人口の合計	人	60,068	59,642	59,062	56,804	58,762
	対象意図 対象意図 対象意図	ア 広域ごみ処理施設の用地買収率	%	74.8	100.0	100.0	100.0	100.0
	市民・事業者 ごみ処理体制の安定及びごみ処理経費の軽減が図られる。	イ 対象者1人当たりの負担金額(負担金額/〔汲み取り人口+自家処理人口+浄化槽人口〕)	円/人	2,152	2,038	2,027	2,125	2,095
	市民 し尿・浄化槽汚泥の円滑な収集、適正な処理が推進され、快適に暮らせるようになること。							

## (4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	ある程度ある			
大きい	①			(6)
普通				
小さい				
		②		
		③		
		④⑤		
		⑥		
		⑦⑧		
		⑨		

## (5) 成果指標の動向



## (6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 比較 28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果動向 比較 28年度 29年度 30年度 1年度 2年度 3計画
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他( )